

令和2年9月3日

報道機関 各位

福島県川内村におけるオンラインセミナー開催のお知らせ

長崎大学福島未来創造支援研究センターは、福島イノベーション・コースト構想促進事業（「復興知」事業^{（注）}）の令和2年度採択事業である「災害・被災者医療科学分野の人材育成による知の交流拠点構築事業」の一環として、学校法人昌平鬘東日本国際大学、国立大学法人福島大学、公立大学法人福島県立医科大学と連携して、9・10月に下記のとおり、計5回のセミナーをオンラインにて開催することとなりました。

本セミナーでは、専門家の方々の講演や住民の方々の講話だけでなく、ワークショップや学生同士のディスカッションの時間も設け、講師の方々は福島県内を中心に関東や福岡など、各地から配信され、受講者も各地からオンラインで参加の形式となります。ぜひ取材いただければ幸いです。

（注）「復興知」事業について
（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構により、福島県復興に資する知を福島県浜通り地域等に誘導・集積するため、浜通り市町村等において組織的に教育研究活動を行う大学等を支援する学術研究支援事業（「復興知」事業）が実施されています。

記

〈セミナー日程〉

令和2年9月6～7日 災害・被災者医療科学集中セミナー

令和2年9月7～9日 放射能災害復興学セミナー

令和2年9月9～10日 復興学セミナー

令和2年10月3～4日 福島大学主催 環境放射能学セミナー-in 伝承館

（現地にて開催、福島県外者はオンライン参加のみ）

令和2年10月13～17日 International Advanced Training Course

〈参加者〉

長崎県 福島県 東京都等の学生、教職員等

（10月13-17日のみロシア、ベラルーシ、台湾、韓国等）

〈プログラム〉

別紙参照

〈開催拠点〉

長崎大学 医学部内／長崎大学川内村復興推進拠点（福島県川内村）

【本リリースに関するお問い合わせ先】

国立大学法人 長崎大学 原爆後障害医療研究所 高村 昇

電話：090-4989-0923

2020年度 災害・被ばく医療科学集中セミナー

～浜通りから復興知を学び、福島を考える～



1
日
目

- 放射線災害から復興における医療人・科学者の役割
- 震災による経験とは
- 東日本大震災対応の経験からの教訓

2
日
目

- 放射線被ばくと健康影響
- これからの福島を担う若者に学んでほしいこと
- リスクコミュニケーション活動について
- ワークショップ

本セミナーは学生を対象に、放射線被ばくと健康影響に関する正しい知識を身につけ、福島の未来を担うグローバル人材を育成することを目的としています。

※新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、今年度はオンラインでの開催となります。参加を検討中の皆様には、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

日時、場所

9/6(日)-7(月)

オンライン開催 (WEB)

Zoomミーティングにて開催 (予定)
1日のみの参加も可能です。

対象

災害・被ばく医療科学に興味のある大学生・大学院生

参加費

無料

申込方法

申込は下記URL又はQRコードの申込フォームよりお申し込みください。

申し込み締切：~~8月20日(木)まで~~

26日(水)まで延長となりました

主催：長崎大学 福島未来創造支援研究センター

〒852-8501 長崎県長崎市坂本1-7-1 TEL:095-819-7098
rscff_nu@ml.nagasaki-u.ac.jp 申込フォーム：<http://u0u0.net/uoVu>



セミナースケジュール

Day 1

13:00-13:15

接続確認、開会挨拶

長崎大学 教授 高村 昇

13:15-14:00

放射線災害から復興における医療人・科学者の役割

福島県立医科大学 副学長 山下 俊一

14:15-15:00

震災による経験とは

川内村住民 神藤 俊男

15:00-15:45

東日本大震災対応の経験からの教訓

(一社) かわうちラボ 事務局長 井出 寿一



Day 2

10:00-10:45

放射線被ばくと健康影響

長崎大学 教授 高村 昇

10:45-11:30

これからの福島を担う若者に学んでほしいこと

川内村 村長 遠藤 雄幸

13:00-13:30

リスクコミュニケーション活動について

長崎大学 助教 折田 真紀子

13:30-15:00

ワークショップ

農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員 万福 裕造



* 講義によっては時間が前後する可能性があります。

* 受講決定者には、後日改めて、確定スケジュール、Zoomのアクセスに必要な設定やID等を申込時にご入力いただいたメールアドレス宛にお送りします。なお、セミナー開始日の1週間前を経過後もメールが届かない場合は事務局までご連絡ください。

放射線災害 復興学セミナー

「福島原発事故と災害復興」



日時

9/7(月)-9(水)

オンライン開催(WEB)

※新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、今年度はオンラインでの開催となります。参加を検討中の皆様には、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

対象

福島県浜通りの復興に関心のある学生・大学院生

東日本大震災、それに伴う福島第一原発事故から9年が経過しましたが、福島県では未だ多くの方が避難し、帰還できない状況が続いています。本セミナーでは、実際に川内村における復興を担ってきた行政、医療、科学といった多分野の専門家が、それぞれの立場から村の復興にどのように携わってきたかについて講義・ディスカッションする予定です。

参加費 申込方法
無料

申込は下記URL又はQRコードの申込フォームよりお申込みください。

<http://u0u0.net/uoVu>

申込締め切り:8月20日(本)まで



26日(水)まで延長となりました

1日目

- 放射線被ばくと健康影響
- これからの福島を担う若者に学んでほしいこと
- リスクコミュニケーション活動について
- ワークショップ

2日目

- 放射線被ばくと健康影響
- 東日本大震災からの教訓
- 廃炉の現状について
- 福島県健康調査について
- かわうち保育園訪問

3日目

- 災害医療体制構築と原子力災害
- 原子力災害拠点病院の整備と課題
- 東日本大震災から10年を経て
- グループディスカッション

復興学 セミナー



日時

9/9(水)-10(木)

オンライン開催(Web)

※新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、今年度はオンラインでの開催となります。参加を検討中の皆様には、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

対象

福島県浜通りの復興に関心のある学生・大学院生

参加費 申込方法

無料

申込は下記URL又はQRコードの申込フォームよりお申込みください。

<http://u0u0.net/uoVu>

申込締め切り:8月20日(木)まで

26日(水)まで延長となりました



1日目

13:00-13:45

災害医療体制構築と
原子力災害
石井正三氏

東日本国際大学
健康社会戦略研究所長

13:45-14:30

原子力災害拠点病院の
整備と課題

東日本大震災から10年を経て

永田高志氏

九州大学大学院助教
東日本国際大学
健康社会戦略研究所客員教授

14:45-17:00

グループ

ディスカッション

まとめ発表

2日目

13:00-13:45

川内村 村長講話

13:45-14:15

保健師講話

14:30-16:30

住民対話

環境放射能学セミナー in 伝承館

～環境影響や廃炉技術の最先端から将来の復興知を育む～

2020年 10月3日(土) - 4日(日)

会場：東日本大震災・原子力災害伝承館（福島県双葉町）

プログラム（変更になる場合があります）：

- ・ 廃炉支援技術に関する研究の最前線について
- ・ 伝承館館長・環境放射能研究所長による活動紹介
- ・ 環境放射能研究と復興の最前線について
- ・ 参加学生による研究発表・討論
- ・ 伝承館展示見学・エクスカージョン（双葉町、大熊町など）
- ・ グループディスカッション・発表
- ・ 総合討論

など

オンライン配信（Webexミーティングを使用予定）

展示見学、エクスカージョンを除くプログラムは事前申込みをされた方を対象にオンライン同時配信します。聴講をご希望の方は氏名・所属先を明記の上、メールにて9月25日（金）までにご連絡ください。

メール宛先：ier@adb.fukushima-u.ac.jp

主催：福島大学環境放射能研究所

お問合せ：福島大学環境放射能研究所 事務室

TEL: 024-504-2114 Email: ier@adb.fukushima-u.ac.jp

令和2年9月2日

環境放射能学セミナーin 伝承館 開催のお知らせ

福島大学環境放射能研究所は、「環境放射能学セミナーin 伝承館～環境影響や廃炉技術の最先端から将来の復興知を育む～」と題した2日間の特別セミナーを福島県双葉町に新たに開館する東日本大震災・原子力災害伝承館にて開催します。

本セミナーは、「復興知」事業の一環として、主に福島県内の大学生、高等専門学校生を対象として、廃炉や生態系への放射線影響、浜通り地域の復興について学ぶ事を目的に実施します。

伝承館を会場として行われる最初のイベントですので、ぜひ当日のご取材よろしくお願いたします。

福島大学環境放射能研究所は、大学等の復興知を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業（「復興知」事業（注））の令和2年度採択事業である「災害・被ばく医療科学分野の人材育成による知の交流拠点構築事業」において、事業主体となる長崎大学と連携して人材育成に関する活動を実施しています。

本事業の一環として行う今回のセミナーでは、福島大学教員によるレクチャーのほか、帰還困難区域を含む地域の視察や参加学生自身による研究発表、ディスカッションも行う予定です。オンラインでの聴講も可能とし、研究・復興の最前線について広く共有します。

（注）「復興知」事業について

（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構により、福島県復興に資する知を浜通り地域等に誘導・集積するため、浜通り市町村等において組織的に教育研究活動を行う大学等を支援する学術研究活動支援事業（「復興知」事業）が実施されています。

記

- 日 時：令和2年10月3日（土）、4日（日）
- 場 所：東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）
- 対 象：福島県内の大学生、高等専門学校生
（オンライン聴講は、県外・一般の方の参加も可）
- オンライン聴講は、要事前申込み / 現地での参加希望は、要事前問合せ

以上

（お問合せ先）

福島大学環境放射能研究所 事務室

電話：024-504-2114 FAX：024-503-2921

メール：ier@adb.fukushima-u.ac.jp

International Advanced Training Course on Stakeholder Engagement for Recovery after Nuclear Disasters



Date / Venue

13-17 October, JST

Online (Zoom Meeting) and / or
VOD(Video on Demand)

Participants

Young professionals involved in research or
preparedness work related to the recovery
process after a nuclear accident

Participation Fee

FREE

Application Deadline

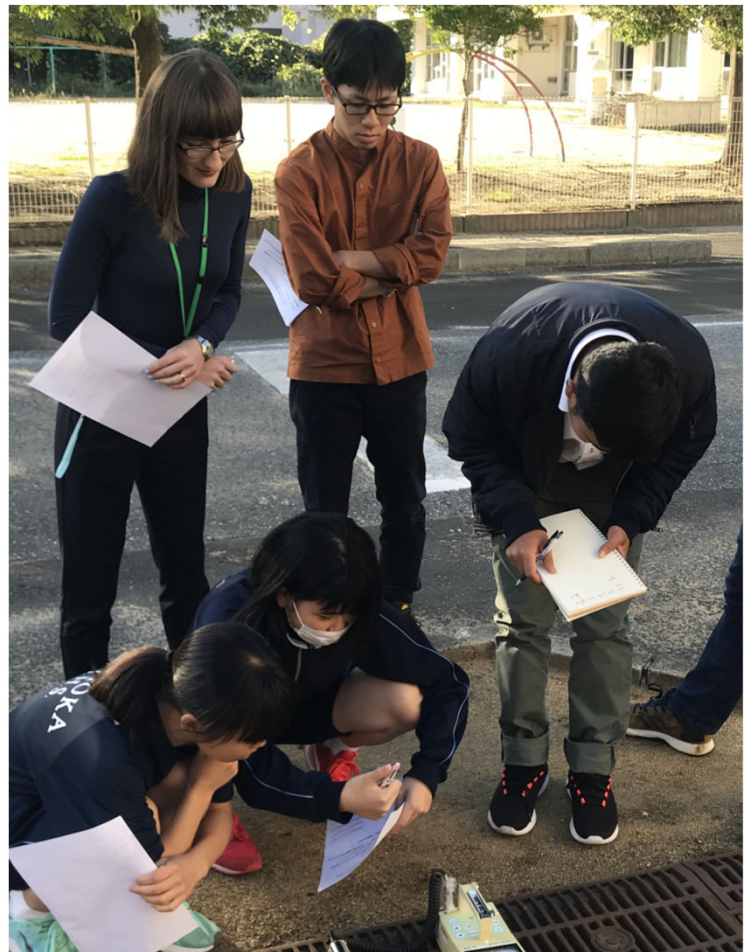
17 September 2020, JST

Application form

<https://forms.gle/zYkCDv9EkMXJaHi5A>

Objective

The objective of the course is to acquire knowledge and practical experience of the model developed by Nagasaki University in cooperation with the Kawauchi Village to support the rehabilitation of the living conditions in the affected areas by the Fukushima accident.



Organized by

Nagasaki University Research and Support Center for the Future of Fukushima
1-7-1, Sakamoto, Nagasaki 8528501, JAPAN

TEL: +81-95-819-7098 E-mail: rscff_nu@ml.nagasaki-u.ac.jp

In cooperation with:

Fukushima Medical University, Fukushima University, and Higashi Nippon International University



FORMAT AND AGENDA

This Seminar consists of presentation by Nagasaki University Professors and interviews with local stakeholders having actively participated in the recovery process in Kawauchi village and Tomioka town. Presentations and discussions will be held in English or Japanese with simultaneous interpretation.

Tuesday 13 October

17:00-18:00 Introduction about our university activities

Dr. Takamura (Nagasaki University)

18:00-19:30 About the co-expertise process

Dr. Lochard (International Commission on Radiological Protection (ICRP))

Wednesday 14 October

13:30-15:00 General incorporated association, Kawauchi Labo

Mr. Jyuichi Ide (Kawauchi Labo)

15:15-15:45 Food monitoring center in Kawauchi

Mr. Ryoichi Igari (Food monitoring center in Kawauchi)

16:00-17:30 Measurement of ambient dose rate

Dr. Orita (Nagasaki University)

Thursday 15 October

13:30-15:00 Meeting with resident

Mr. Toshio Jindo (Resident of Kawauchi Village)

15:30-16:00 Meeting with the village officer

Mr. Masahiro Nouchi (Ministry of Environment)

16:15-17:15 Meeting with the village mayor

Mr. Yuko Endo (Mayor of Kawauchi Village)

Friday 16 October

13:30-14:30 Food monitoring center in Tomioka
Ambient dose monitoring in Tomioka
Meeting with the town officer

15:00-16:00 Visit to Futaba medical center

Dr. Kouichi Tanigawa (Futaba Medical Center)

16:00-17:00 Before and after; sharing photos about Tomioka;

Tomioka station square, and entrance of evacuation order area

Dr. Orita (Nagasaki University)

Saturday 17 October

14:00-15:30 TEPCO Decommissioning Museum

16:00-19:00 Summary of the Kawauchi field visit

Dr. Lochard (International Commission on Radiological Protection (ICRP))



*If you participate in the discussion (17th Oct 16:00-19:00 “Summary of Kawauchi field visit” by Dr. Lochard), you need to watch the video of AGENDA indicated in red on the web by 16th October.

*We will send Meeting ID and Password to participants’ e-mail address by Friday 2nd October. If you don’t receive our e-mail, please contact us.